

ASCC2024 横浜宣言

～Asian Cities Together for a Greener Future～

2024年10月24日

2024年10月23日及び24日、日本国横浜市において「アジアの都市とともにグリーンな未来へ」をテーマに第13回アジア・スマートシティ会議を開催しました。

1 気候変動における都市の重要な役割

我々は、今回世界銀行やアジア開発銀行、独立行政法人国際協力機構（JICA）、アジア太平洋都市間協力ネットワーク（CITYNET）、経済協力開発機構（OECD）、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）などグローバルなパートナーとの緊密な連携により実施した詳細で先進的なセッションを通じ、また学術機関のリーダーによる視点や次代を担う熱意あふれる若者による議論を踏まえ、我々にとって決定的な危機である気候変動に対しては、市民や企業の行動変容を促進すること、行政自身が率先的な行動を進めること、企業が創意工夫を発揮できる環境を整え脱炭素イノベーションや最新技術の創出を後押しすることなど、市民や企業に最も身近な都市ならではの役割を果たしていくことにより、カーボンニュートラルな未来への移行を加速化していくことが重要という認識で一致しました。

2 都市間連携の強化

我々は、気候変動が地球規模の課題であり、堅固な都市間連携が求められているとの認識のもと、アジア・スマートシティ会議等のプラットフォームを活用して、互いに知見や革新的技術、そして将来ビジョンの共有を継続的に進めていくことが、都市の持続可能性の実現のために重要であることを確認しました。世界銀行やアジア開発銀行、JICA等の国際開発機関のサポートのもと、また、CITYNETや持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会（ICLEI）、世界気候エネルギー首長誓約（GCoM）等の国際的な都市ネットワークを活用し、都市間の連携をさらに強化していきます。

3 アジアのリーダーシップを世界へ

我々は、都市の役割への関心が世界中で高まり IPCC が「気候変動と都市に関する特別報告書」を2027年に発表予定であることなどを踏まえ、アジア・スマートシティ会議等の国際会議の機会や国際的なネットワークを活用し、アジアの都市におけるイノベーションや戦略を広く世界に共有することを通じて、持続可能なグリーン社会の形成に貢献します。

参加都市・機関等（アルファベット表記順）

（カンボジア王国）

プノンペン都

（インド共和国）

住宅都市省

港湾・海運・水路省

（インドネシア共和国）

国家開発計画省／国家開発企画庁

ジャカルタ首都特別州

南スラウェシ州

バリクパパン市

パル市

（マレーシア）

クアラルンプール市

（ネパール）

ティローッタマー市

（パキスタン・イスラム共和国）

パンジャブ州

パンジャブ州アフォーダブル住宅プログラム

パンジャブ州開発公社

（フィリピン共和国）

観光インフラおよび企業誘致区庁

バギオ市

バランガ市

ボゴ市

ボロンガン市

ブトゥアン市

カバドバラ市

カランバ市

セブ市

ダナオ市

マンダウエ市

パサイ市

ケソン市

サンカルロス市

ラウニオン州サンフェルナンド市

パンパンガ州サンフェルナンド市

サンタロサ市

(シンガポール共和国)

国家開発省住みやすい都市センター (CLC)

(大韓民国)

ソウル特別市

(スリランカ民主社会主義共和国)

コロンボ・ポートシティー経済委員会

(タイ王国)

バンコク都

(ウズベキスタン共和国)

経済財務省

サマルカンド州

タシケント市

(ベトナム社会主義共和国)

ダナン市天然資源環境局

ハティン省人民委員会